

資料編

1 市民からの意見・要望

令和元年11月に、「半田市生涯学習に関する市民アンケート調査」（18歳以上90歳未満の市民2,000人を抽出、回答数598、有効回答率30.0%）を実施し、市の生涯学習を盛んにするための。ご意見・ご要望を頂戴いたしました。

1 「自分づくり」のための学びの応援に関連すること

- 市の生涯学習等、いろいろ活動するのに為になることがたくさんありますが、年と共に腰が曲がり外出するのが苦痛になりました。そのため、家の中で学べるテレビやラジオを聞いて画面に向かって返事をしています。
- 若い方でも参加しやすくしてほしい。SNSで情報を発信するとよいのではないか。今はフェイスブックやツイッターよりもインスタグラムをやっている方が多いと思うので活動している写真や物などを投稿すると分かりやすく参加しやすくなるのではないか。
- オカリナ教室やペーパークラフト教室など 知多市などではあるのだが、半田にはないことが多いと思います。
- 継続して学習ができるよう、定期的な講座もあって良いのかなと思う。
- 気軽にお試しできそうなものもあってほしいかな・・・。
- 趣味を持っていて趣味の仲間もいるとあえて生涯学習に参加することで時間的にしぼられるような感じがある。ラジオ体操のように毎週〇曜日△時に「そこへ行くとやってるよ～」みたいななら参加しやすい。
- 年齢によって情報を得るもの（媒体）が違うので、様々な形で情報発信していくことが必要かと思っています。
- 生涯学習の講座が多くなり嬉しいです。今後参加していきたいです。
- 今から、キャッシュレスや、パソコン等、使えると老後の生活がしやすくなる。少しなりとも活動範囲を広げやすくなるものを学びたいと思います。
- 近年高齢者が増加し、元気で生きる意欲も高くなっている。興味、関心も多方面に広がり、学習講座を開けば高齢者が多数を占めている。
- まずはきっかけ作りが大事なのと、そのきっかけとなる情報を発信する必要があると思います。また社会人は平日の参加が難しいので土日で学べる環境作りが必要と思います。
- 市報や展示物をよくみていますが、若い人向けが多く、参加出来る機会がありません。もう少し高齢者向けも増やして下さい。

1 「自分づくり」のための学びの応援に関連すること

- ターゲット層との結びつけが重要だと思います。生活を豊かにするものがあるといいと思います。今の生活に不安・不満のある人にそのような活動を届けられることができるとより良い市民生活につながると思います。
- 私のような学生でも参加しようと思えるものがあるといいなと思います。例えば「大学生限定」などくくりがあると大学生しか来ないなら行こうかなと思いますし、SNS や駅などにチラシがあるなど、行きそうな場所で宣伝してもらえれば目に入ると思います。
- 土日に社会人が仕事などに役立つ講座を開催してほしい。（PCのスキルをつけるとか）定年しても再雇用や再就職などに役立つものがあるといいと思う。平日は仕事が忙しく又、残業などで参加できないなどの社会人はたくさんいる。将来を見据えた役に立つ講座なら高額でも参加したい社会人はたくさんいると思う。
- 3歳までの赤ちゃんを育てている母親へのサポートの充実（世話の仕方、遊び、言葉 etc）をしていけるといいと感じている。（祖父母が仕事をしているということが増加し、孤立した状態にいる人が不安を抱えている・・・）
- 仕事をしている人を対象にしているように思えない。土日などの開催が増えるといいと思う。
- 色々な年齢の人が参加したいと思えるような講座や、参加できる時間帯（仕事をしている人が参加しやすい時間を考慮して）の幅を広げてみてはどうか。子育て中の人でも気軽に参加できるように託児月があってはどうか。
- 平日の講座では仕事があって参加できない事が多く残念です。
- 生涯学習は行きたいと思ってゲストティーチャーのチラシなど見るのですが、土日や平日の夕方（18：00以降）などの仕事をしている人が参加できるものが少ないという印象です。また地域の講座＝高齢者が参加するというイメージがあるので、若い人も参加しやすいような工夫が必要だと思います。
- 生涯学習活動は自分自身の教養を高めるために必要かとは思いますが、仕事や育児など日々の生活に忙しく限られた時間を自分のために使うのか選択が難しい。
- 勉強したい気持ちはあるが時間や費用、心に余裕がなく後回しになっている事があり残念です。自分に合っているものを誰かに教えて頂けたらありがたいです。

1 「自分づくり」のための学びの応援に関連すること

- 私は今雁宿ホールを利用していますが、短期の講座などを玄関あたりに見やすいポスターで掲載していただくと参加する、しないはともかく、気に留めたりできるのでは・・・
- パソコンやスマホがあまり使えない人にも生涯学習に関する情報を取得する媒体があれば、いろいろな人が生涯学習に参加できると思う。
- 特にこだわってやりたいことはないが、身体を動かすことを中心に生涯学習に参加してみたいとは思いました。まずは情報を集めること。インターネットを使えない人でも情報が得られるといいと思います。
- 現在どんな講座があるのか、どうすれば新たな講座を開設してもらえるのか、半田市がどこまでサポートしてくれるのかを、市民がわかりやすく調べられる仕組み作りが一番大事だと思います。
- ネットワークの構築、顔の見える関係作り、若年層が生き生きと活動できる場を作る（ハード面もソフト面も）意見交換
- 市報などで教室、講座など見かけます。昔は少なかった親子参加や子育て等たくさんあって自分の年齢、タイミングなどが合っていれば参加したかったなあと思うことが多々あります。この先もいろいろな企画頑張ってください。
- 学習の必要性があるときにどこで学ぶ事ができるかわからない事が多いので何らかのガイドがあった方が良くと思います。
- 半田市民にもっとわかりやすく情報を知らせてください。
- PRの仕方をもっと工夫すること。・土日での開催。・クラシティ、公民館などの有効活用。
- SNSだと若者にも簡単に情報とか届くからいいと思う。
- インターネット、SNSの有効活用
- 情報共有する為の方法・システム作りの確立。
- 募集しているページがあれば（ネット、市報など）見て考えたい。
- 気軽に出来るような環境を整えていれば参加するかもしれない。申し込みとかが面倒な時もあるため。
- SNSは今 若い子にとっては一番身近な発信源なのでSNSを活用すれば若い子は生涯学習を学びやすくなる。逆に年配の方は新聞などが見やすいと思うのでこの2つの活用は大事だと思います。

2 「ひとつづくり」のための学びの応援に関連すること

- 社会的に活動している人の講演など聞いて勉強できたらと思うので費用はかかっても時の社会情勢の話など聞いてみたい。ほかのまちに居た時、その機会があり、話を聞いたことがあるがとても勉強になった。
- 教員退職者や、民間人でもそれに詳しくれば講師になってほしい。好きな講座を探し、出かけられるように、講座を選べられれば良いと願っています。
- 若年層をターゲットにした生涯学習のあり方を開発してはどうか？その時リーダー指導者が地域の高齢者という形が理想である？またその逆もあり、子どもや若者が指導者となる。
- 高齢者の持っている力が発揮できるような場、地域の小学校・中学校等、子供たちの支援に関われる場（現在応援隊として参加しています）をもっと広げて行ってほしいと思います。
- ホームページが見にくい。フェイスブックやツイッターなどはやりたくないで市民が登録できるメールがあるとよい。
- そういった場所に出向く人は決まった人のみになってしまっていると思うので、講座のみするのではなく若い世代や地域交流をふだんしない方に来てもらえるようにほかのイベント（抽選会や遊具体験など）と組み合わせて行った方が行きやすい。
- 生涯学習は個人の意欲の問題も大きいと思います。
- 参加したいと思う魅力的講座と仲間（誘われる、誘う）、継続して続けたいと思うメンバーがいたらいいです。
- 幅広い年齢層が集まれる学習及びその活動が良いと思います。
- 他の人との親睦が少ない。
- 仕事と子育てで、全く自分の時間が持たなくてこのままじゃつまらないと思っていましたが、5人集まれば学べるチャンスがあるのだとワクワクしてきました。もっと手軽に学べるチャンスが作れば現実的になるのかなと思います。ラインとかで予約できたら助かります。

3 「まちづくり」のための学びの応援に関連すること

- 区民館を利用して、そろばん、書字など親子で利用したり出来るようにしてほしいです。もっと区民館が若い人達にも利用できる学習の場があるとよいと思います！
- もっと受験生が自習できる場所を増やして欲しいです。
- 近くの神社でコミュニティールームとして開放したり習い事を行ったりしています。とても良いことだと思うのでこれからも続けてほしい。
- 誰もが気軽に学習に取り組める環境（自習スペース）を用意すると盛んになると思います。
- 学校施設をもっと開放する。市民の人にも開放してほしい。
- 生涯学習として体づくりを積極的に行おうとしているが、半田市は道が悪くサイクリングがやり辛い。道（歩道、自転車道）を舗装し、学生から成人までジョギングやサイクリング等の生涯スポーツを楽しめる環境にして欲しい。
- スポーツを通じて学び、健康促進するのが良いと思います。1人でも気軽に参加できるようなイベントがあると地域交流も深まるかもしれません。
- 直接生涯学習とは関係ないが、ブラジルポルトガル語を継続的に学習できる場があれば市の人口の数パーセントを占めるブラジル人との交流もしやすくなるかと思う。
- ここ数年、雁宿ホールで催されている高度な芸術作品を鑑賞していると、大変刺激となって、新しいことを学んでみたいと思うようになりました。今後も質の高い芸術作品をどしどし招へいし、開催してほしいです。

2 半田市生涯学習推進協議会委員名簿

令和元年度 半田市生涯学習推進協議会委員名簿

	氏名	所属等
委員	鈴川 慶光	半田市教育長
	加来 昭子	半田市社会教育委員
	竹内 浩一	半田市社会教育委員
	小島 孝志	半田市区長連絡協議会委員
	長谷川寛子	半田市文化協会代表
	榎戸 大介	半田市スポーツ協会代表
	清澤 吉徳	半田市老人クラブ連合会代表
	山下 美保	半田市小中学校校長会代表
	早川 寿樹	半田市小中学校教諭代表
	稲澤 由以	半田市内高等学校長代表
	小坂 和正	半田市社会福祉協議会 事務局長
	松本 一代	学習者代表
	板倉 恵美	半田女性活動連絡協議会代表
	米持 三幸	半田商工会議所代表
	芳金 秀展	公益社団法人半田青年会議所代表
福田 昌寛	連合愛知知多地域協議会代表	
澤田 恭尚	半田市公民館連合会代表	
顧問	千頭 聡	日本福祉大学地域連携推進機構長

【市事務局】

岩橋平武（教育部長）

波田 聡（主任指導主事）

鈴村貴司（生涯学習課長）

富田康雄（教育主事）

新美恭子（副主幹）

【関連部署】

山田 宰（企画課長）

長谷川信和（市民協働課長）

大嶽浩幸（環境課長）

榊原宏之（地域福祉課長）

倉本裕士（高齢介護課長）

伊藤奈美（子育て支援課長）

高浪浅夫（幼児保育課長）

竹内 清（スポーツ課長）

山口知行（保健センター事務長）

山下由美（図書館長）

間瀬浩平（博物館長）

榊原一人（新美南吉記念館長）

【日本福祉大学事務局】

大崎博史（企画政策課長）

岡崎佳子（企画政策課長主幹）

令和2年度 半田市生涯学習推進協議会委員名簿

	氏 名	所 属 等
委員	鈴木 慶光	半田市教育長
	内藤 菜穂	半田市社会教育委員
	鈴木 恒夫	半田市社会教育委員 半田市文化協会代表
	榎戸 大介	半田市スポーツ協会代表
	清澤 吉徳	半田市老人クラブ連合会代表
	山下 美保	半田市小中学校校長会代表
	水野 知己	半田市小中学校教諭代表
	稲澤 由以	半田市内高等学校長代表
	小坂 和正	半田市社会福祉協議会 事務局長
	松本 一代	学習者代表
	都築 広子	半田女性活動連絡協議会代表
	森 啓貴	半田商工会議所代表
	細川 俊輔	公益社団法人半田青年会議所代表
	竹内 宏行	連合愛知知多地域協議会代表
武内 雅	半田市公民館連合会代表	
顧問	千頭 聡	日本福祉大学地域連携推進機構長

【市事務局】

岩橋平武（教育部長） 鈴木康弘（主任指導主事）
 新美恭子（生涯学習課長） 竹内 光（教育主事） 赤坂英寿（主査）

【関連部署】

大木康敬（企画課長） 長谷川信和（市民協働課長）
 大嶽浩幸（環境課長） 竹内 正（観光課長）
 杉江慎二（地域福祉課長） 沢田義行（高齢介護課長）
 伊藤奈美（子育て支援課長） 竹内 健（幼児保育課長）
 加藤計志（スポーツ課長） 沼田昌明（保健センター事務長）
 山下由美（図書館長） 間瀬浩平（博物館長）
 遠山光嗣（新美南吉記念館長）

【日本福祉大学事務局】

赤松伸一（企画政策課長） 岡崎佳子（地域連携コーディネータ）



はんだ学びプラン 第3次半田市生涯学習推進計画
発行 令和3年4月

半田市教育委員会生涯学習課（雁宿ホール内）
TEL：0569-23-7341 FAX：0569-23-7629
〒475-0918 半田市雁宿町1丁目22番地の1
Eメール：shougai@city.handa.lg.jp
